

# 先生の推し本 第14回

## 大藪海先生 文教育学部人文科学科

慶應義塾大学文学部人文社会学科日本史学専攻卒業、慶應義塾大学大学院文学研究科史学専攻修士課程修了、同博士課程単位取得退学、博士(史学)。

独立行政法人日本学術振興会特別研究員(PD)、東京大学史料編纂所特任研究員、首都大学東京(現・東京都立大学)助教等を経て、2016年よりお茶の水女子大学文教育学部助教、2020年より同准教授。専門は、日本中世史。



学問への入り口はさまざま  
—私はマンガとゲームから入りました—

図書館HPの企画展示のページはこちら



いま私はお茶大で日本中世史(主に南北朝時代・室町時代・戦国時代)を専門に研究しています。しかし、最初から変わることなく日本中世史に興味を持ち続けたわけではありません。いま思い返せば、いくつもの分岐点がありました。そこで今回は、私が日本中世史を専門とするに至るまでに出会った本を振り返りつつ紹介することにより、「本との出会い」が人生を左右してゆく様子をみなさんにお見せしたいと思います。

2025年3月14日～5月末